

2027 年度（令和 9 年度）

大学院学生募集要項

総合情報学研究科

総合情報学専攻

修士課程

北海道情報大学

志願者のみなさんへ

【個人情報の取り扱いについて】

本学では、出願の際に提出された入学願書等の書類に記載されている、氏名、性別、生年月日、住所、その他の個人情報は、入学者選抜（出願処理、選考実施）、及び合格者発表並びに入学手続き（入学時に必要な経費の通知、書類の送付、入学後の連絡事項）を行うために利用します。

【入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で定めている育成すべき人材像を実現するため及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために、経営や情報、医療情報、マルチメディアなどの専門分野においてより豊富な学識と実践的で高度な専門知識及び技術修得を追求し、創造性豊かな研究者並びに先端科学技術の発展に貢献できる学生を求めています。本学の大学院総合情報学研究科に興味・関心を持ち本研究科入学後の学びや諸活動を通して、次のような能力を身に付けられる学生を求めています。

- 志望する研究分野に関する研究意欲がある人
- 高度専門知識・技術修得に意欲がある人
- 思考力・表現力・コミュニケーション能力を備えることができる人
- 継続的・発展的な自己啓発能力を備えることができる人

目 次

選抜試験概要	1
出願にあたって	2 ~ 5
選抜試験について	6 ~ 8
合格発表・入学手続きについて	9
その他	10 ~ 11
試験会場	12
大学院担当教員（専任）の専門分野と研究テーマ	13 ~ 14

選 抜 試 験 概 要

1. 募集人員

研 究 科	専 攻	募 集 人 員
総合情報学研究科	総合情報学専攻（修士課程）	15名

※ 募集人員には、社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜による募集人員を含みます。

2. 選抜試験区分

【一般選抜試験】

【社会人特別選抜試験】

【外国人留学生特別選抜試験】

3. 選抜日程

	出 願 期 間	選 抜 日	合 格 発 表 日	入 学 手 続 期 間
1 次 募 集	2026 年 8 月 3 日(月) ゝ 2026 年 8 月 31 日(月)	2026 年 9 月 11 日(金)	2026 年 9 月 17 日(木)	2026 年 9 月 18 日(金) ゝ 2026 年 10 月 2 日(金)
	2027 年 1 月 5 日(火) ゝ 2027 年 1 月 25 日(月)			2027 年 2 月 5 日(金)

4. 入学検定料

(1) 入学検定料 30,000 円

(2) 納入期間 【1次募集】2026年8月3日(月)～2026年8月31日(月)

【2次募集】2027年1月4日(月)～2027年1月25日(月)

(3) 納入方法 本学所定の用紙（**B**・**C**・**D** 票）に必要事項を全て記入してから、最寄りの銀行で振り込んでください。振込手数料は、本人負担となります。必ず**B**・**C** 票を銀行から受け取り、①と②の取扱銀行出納印2か所の押印を確認してください。なお、**C** 票は本学の領収書とするので本人が保管してください。**B** 票は本学宛の出願書類となります。

(4) 注 意 銀行振込以外は受け付けません。

出願にあたって

1. 選抜試験区分および出願資格

【一般選抜試験】

次のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者および2027年3月までに卒業見込の者（学校教育法第102条）
- (2) 大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者および2027年3月までに授与される見込の者（学校教育法施行規則第155条第1項第1号）
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および2027年3月までに修了見込の者（学校教育法施行規則第155条第1項第2号）
- (4) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者および2027年3月までに修了見込の者（学校教育法施行規則第155条第1項第3号）
- (5) 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程を修了した者および2027年3月までに修了見込の者（学校教育法施行規則第155条第1項第4号）
- (6) 指定された専修学校の専門課程を修了した者および2027年3月までに修了見込の者（学校教育法施行規則第155条第1項第5号）
- (7) 旧制学校等を修了した者（昭和28年文部省告示第5号第1号～第4号）
- (8) 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者および2027年3月までに修了見込の者（昭和28年文部省告示第5号第5号～第12号）
- (9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月31日までに22歳に達する者（学校教育法施行規則第155条第1項第8号）
- (10) その他本学大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

【社会人特別選抜試験】

上記(1)～(9)のいずれかに該当し、2027年4月1日の時点で2年以上の社会経験を有する者

【外国人留学生特別選抜試験】

日本国籍を有しない者で、次のいずれかに該当する者

- (1) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および2027年3月までに修了見込の者
- (2) 外国人留学生として我が国の大学を卒業した者および2027年3月までに卒業見込の者
- (3) その他本学大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※ 上記【一般選抜試験】(9)～(10)および【外国人留学生特別選抜試験】(3)により出願を希望する者は各選抜日の2か月前までに北海道情報大学教務課大学院担当に申し出てください。なお、【一般選抜試験】(9)の個別の入学資格審査については、4頁の10を参照してください。

2. 出願書類

(1)	入学志願票 A 本学所定用紙	必要事項を全て記入し、写真貼付欄に写真(注1)を貼付すること。
(2)	B 票(受験票) 本学所定用紙	必要事項を全て記入すること。また、取扱銀行出納印の押印の確認と裏面(郵便はがき)の切手貼付欄の料金分の切手(注2)の貼付に注意すること。なお、1頁の「4. 入学検定料」および C 票裏面の「出願手順について」を参照したうえで、書類を作成すること。
(3)	研究計画書 本学所定用紙	本学大学院での研究目的、研究計画等について、具体的に記入すること。 <u>ワープロ等での作成可(本学所定用紙と同様の書式とし、両面印刷とすること)。</u>
(4)	成績証明書	出身大学長または学部長が作成したもの。 なお、大学院を修了(見込)の者は学部と大学院の両方を提出すること。 <u>外国語で書かれている証明書は、日本語訳をつけること。</u>
(5)	卒業(見込)証明書	出身大学で発行されたもの。 なお、大学院を修了(見込)の者は学部と大学院の両方を提出すること。 <u>外国語で書かれている証明書は、日本語訳をつけること。</u>
(6)	住所シール 本学所定用紙	合格通知書の送付等に使用するので、3片とも正確に記入すること。

(注1) 写真は縦3.0 cm×横2.5 cmで、最近3か月以内に撮影の正面・無帽・背景なしで光沢カラーの顔写真であること。スピード写真および不鮮明なものは不可。裏面に氏名を明記してから所定の欄に貼付すること。

(注2) 385円(通常はがき速達料金)。ただし、2026年4月現在なので、出願時に確認すること。

[該当者のみ、上記の出願書類の他に、以下の書類を提出すること。]

(7)	健康診断書	本学から指示があった者のみ医療機関で受診の上、提出すること。
(8)	在留カードの写し	外国籍の者に限り必要とする。
(9)	パスポートの写し	外国人留学生特別選抜試験出願者に限り必要とする。
(10)	経費支弁書 本学所定用紙	外国人留学生特別選抜試験出願者に限り必要とする。
(11)	日本語の能力を証明する書類	日本語能力試験の合格通知書(写し可)、日本語学校の調査書または成績証明書(写し不可)、等 ※外国人留学生特別選抜試験出願者に限り必要とする。
(12)	学士の学位の取得を証明する書類	外国の大学を卒業した者および大学評価・学位授与機構から学位を授与された者は提出すること。 <u>外国語で書かれている証明書は、日本語訳をつけること。</u>

3. 出願期間

【1次募集】2026年8月3日(月)～2026年8月31日(月)

【2次募集】2027年1月4日(月)～2027年1月25日(月)

4. 出願先

〒069-8585 北海道江別市西野幌59番2 北海道情報大学 教務課大学院担当
TEL (011)385-4414

5. 出願方法

本学所定の大学院入学願書在中封筒で上記「2. 出願書類」を、出願期間内必着で「4. 出願先」へ持参または郵送してください(消印有効ではありません)。

6. 受験票の交付

- (1) 提出された出願書類の内容を確認し、受験番号（6桁の数字）を付与した **B** 票（郵便はがき）を受験票として返送します。
- (2) 受験票が選抜日の3日前までに届かない場合は、北海道情報大学教務課大学院担当に申し出てください。

7. 出願上の注意

- (1) 一度提出した出願書類や既納の入学検定料は、理由の如何を問わず返還できません。
- (2) 出願書類の提出が期限に間に合わないなどの不備があった場合は、出願を受け付けられません。
- (3) 入学後、出願書類等の記載内容に重大な誤りが判明した場合、入学許可の取り消し、または退学を命ずることがあります。

8. 身体に障がいのある志願者の事前相談について

本学大学院に入学を志願する者で、身体に障がい（学校教育法施行令（昭和28年政令第340号）第22条の3に定める身体障がいの程度）があり、受験上又は修学上の特別な配慮を希望する場合は、あらかじめ北海道情報大学教務課大学院担当に申し出てください。

9. 指導教員について **重要**

本学大学院では、入学後、学生個々に指導教員がつき、その指導のもとで修了まで学修・研究を行います。出願にあたって、希望する指導教員名を入学志願票 **A** の所定の欄に記入してください。指導教員は、12頁からの「大学院担当教員（専任）の専門分野と研究テーマ」を参照し、入学を希望する専門分野の大学院担当教員の中から選んでください。

なお、出願前に希望する指導教員と研究内容や研究の進め方等に関して、必ず事前面談をしてください。事前面談が困難な場合には、電話等で希望する指導教員と連絡を取るようになしてください。また、出願書類の1つである「研究計画書」は、その事前面談での内容をふまえて作成してください。

10. 個別の入学資格審査について

本学大学院へ入学を志願する者のうち、出願資格が【一般選抜試験】(9)により出願する者の入学資格審査を次の要領で行います。

【審査対象】

短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生や外国大学日本分校等の修了者など大学卒業資格を有しない者

【審査申請期間】

1次募集：2026年6月22日（月）～2026年6月26日（金）

2次募集：2026年11月16日（月）～2026年11月20日（金）

【審査方法】

提出書類により審査を行います。ただし、必要と認められた者については口述審査を行うことがあります。口述審査該当者には、別途通知します。

【提出書類】

次の書類を揃え、4頁の申請期間内に本学教務課大学院担当あて必着で提出してください。

- ・入学資格審査申請書（本学所定用紙）
写真は、縦3.0 cm×横2.5 cmで最近3か月以内に撮影の正面・無帽・背景なしで光沢カラーの顔写真を裏面に氏名を明記してから所定の欄に貼付してください。
- ・最終出身学校の成績証明書、卒業（修了）証明書
- ・最終出身学校卒業後の①学習歴、②実務経験、③出願理由及び④研究計画について、200字程度にまとめたレポート（A4縦判横書きで様式は自由）
- ・最終出身学校卒業後の学習歴、実務経験等を証明できるもの
（例：教育機関の成績証明書、研究機関の在職証明書またはこれに代わるもの）

※ 著書、論文、報告書など能力を証する資料があれば、添付してください。

【審査結果発表】

審査結果は、次の期日までに本人あて郵送により通知します。発表日以降において通知が届かない場合は、教務課大学院担当に問い合わせてください。

1次募集：2026年7月24日（金）

2次募集：2026年12月25日（金）

選抜試験について

1. 選抜日時

【1次募集】2026年9月11日（金） 午前10時より

【2次募集】2027年2月5日（金） 午前10時より

※ 試験開始20分前までに控室に集合してください。

2. 選抜方法（合否判定の方法および基準）

【一般選抜試験】

外国語（英語）、専門科目に関する筆記試験（各100点）、および面接試験（100点）を行います。筆記試験、面接試験（合計300点）を総合的に評価し、基礎的な知識と志望する分野に関する研究意欲を有する人を選抜します。

【社会人特別選抜試験】

専門科目に関する小論文（100点）、および面接試験（100点）を行います。小論文、面接試験（合計200点）を総合的に評価し、研究意欲と獲得した技術を社会に応用する意欲を有する人を選抜します。

【外国人留学生特別選抜試験】

専門科目に関する筆記試験（100点）、および面接試験（100点）を行います。筆記試験、面接試験（合計200点）を総合的に評価し、研究意欲と社会への応用やグローバル化を意識した人を選抜します。

3. 選抜試験内容

(1) 外国語（英語）：60分

※ 試験中、英和辞典を本学が貸与します。

(2) 専門科目：60分

志望する専門分野の問題を受験するものとします。

※ 各科目とも本学大学院入学にあたり必要とされる基礎的な能力を検査することを目的とした出題内容となっています。

なお、外国人留学生特別選抜試験における専門科目の出題及び解答は、いずれも日本語によります。

(3) 面接：※15分程度

(4) 小論文：60分

志望する専門分野の問題を受験するものとします。

※ 各科目とも本学大学院入学にあたり必要とされる基礎的な能力を検査することを目的とした出題内容となっています。

専 門 分 野
デジタルビジネス・マネジメント分野
システムデザイン分野
メディカル・ヘルスケア IT 分野
クリエイティブメディア分野

4. 選抜試験時間割

【一般選抜試験】 10：00 から

10：00	11：00	11：30	12：30	13：30
外国語(英語) (60分)	休憩 (30分)	専門科目 (60分)	昼休み (60分)	面接 (各15分程度)

【社会人特別選抜試験】 11：30 から

11：30	12：30	13：30
小論文 (60分)	昼休み (60分)	面接 (各15分程度)

【外国人留学生特別選抜試験】 11：30 から

11：30	12：30	13：30
専門科目 (60分)	昼休み (60分)	面接 (各15分程度)

5. 試験会場

北海道情報大学（11頁の案内図参照）

※ 試験室は受験票を交付の際に通知します。

6. 受験上の注意

(1) 時刻

- ① 試験室へは試験開始10分前には入室し、掲示等の案内に従って着席してください。
- ② 遅刻者の受験は、試験開始後30分まで認めます。
- ③ 試験開始及び終了は監督員が口頭で合図するので、その指示に従ってください。
- ④ 試験当日は、天候、交通渋滞等を考慮の上、十分に余裕をもって試験会場へ入場してください。

(2) 試験

- ① 不正行為者は全科目について無効とします。
- ② 筆記用具以外の持ち込みは一切不可とします。筆記用具はHBかBの鉛筆またはシャープペンシルを使用してください。

(3) 受験票

- ① 受験票は常に身につけ、係員より請求された場合は速やかに呈示してください。また、試験中は机の上の見やすい位置に置いてください。
- ② 受験票を紛失した場合は、事前に北海道情報大学教務課大学院担当に連絡してください。

(4) その他

- ① 昼食は、なるべく各自で用意するようにしてください（本学の学生食堂及びコンビニエンスストアは、当日休業あるいは短縮営業となっています）。
- ② 交通手段が自家用車の場合は、本学の学生駐車場（正門から入構、右手）を利用できます。
- ③ 受験にあたって宿泊が必要な場合は、各自で手配してください。

合格発表・入学手続について

1. 合格発表

- (1) 発表日時 **【1次募集】** 2026年9月17日(木) 午前10時より
 【2次募集】 2027年2月10日(水) 午前10時より
- (2) 発表場所 本学大学院掲示板
- (3) 通 知 合否に関わらず、通知は本人宛に速達郵便で送付します。なお、電話等による問い合わせには応じません。

2. 入学手続

- (1) 入学手続期間
 【1次募集】 2026年9月18日(金)～2026年10月2日(金)
 【2次募集】 2027年2月12日(金)～2027年2月26日(金)

(2) 入学手続方法

- ① 学費の納入(入学金を含む1年次の前期分)
② 入学手続書類の提出
 詳細は合格通知に同封します。

(3) 学 費 (2026年度実績)

1年次	入学金	授業料	実験実習費	施設設備費	合 計	合 計 (本学卒業者)
前 期	200,000 [※]	400,000	50,000	25,000	675,000	575,000 [※]
後 期	—	400,000	50,000	25,000	475,000	475,000
計	200,000 [※]	800,000	100,000	50,000	1,150,000	1,050,000

- ・本学卒業者は、入学金を100,000円とします。
- ・2年次についても入学金を除いてこの表と同じです。
- ・この他に、入学時に学生教育研究災害傷害保険料分担金(2年分で2,080円)を徴収します。

(4) 入学辞退

入学を辞退する場合は、速やかに所定の要領で北海道情報大学教務課大学院担当に届け出てください。

詳細は合格通知に同封します。

なお、入学手続き完了後に入学を辞退する場合、2027年3月19日(金)17:00までに意思表示があった方には、入学金を除いた授業料・実験実習費等を返還します。

そ の 他

● 奨学金等について

(1) 北海道情報大学松尾特別奨学金（新入生対象）

本学総合情報学研究科が実施する入学試験の合格者の中から、試験成績等を総合的に判断し、優秀な者に対して奨学金を給付します。この奨学金は貸与奨学金とは異なり返還の必要はありません。

特待生の種類	採用人数	給付額	支給時期及び支給方法	支給期間
特待生 B	6名以内	授業料の1/2相当額	5月と11月の各月に均等分割支給	入学年度の1年間

※特待生の採用については、2月中旬に通知します。

(2) 北海道情報大学奨学金（在学生対象）

在学生のための奨学金には、次の2つがあります。

① 学業成績優秀者への給付奨学金（返還の必要はありません）

なお、(5)と併用はできません。

奨学金対象者	採用人数	給付額	支給時期及び支給方法	支給期間
総合情報学研究科 2年次	1名	200,000円	9月と翌年3月の各月に均等分割支給	採用年度の1年間

② 貸与奨学金（無利子）

奨学金対象者	採用人数	貸与額	奨学金の交付	貸与期間
総合情報学研究科 1年次・2年次	学年毎に 3名以内	月額60,000円	本学が指定する月	採用年度の1年間

(3) 日本学生支援機構奨学金

本学の奨学金以外では、日本学生支援機構が人物・学業ともに優れ、経済的理由により修学に困難があると認められる者に対し、奨学金を貸与しています。また、10月頃に大学院進学内定者を対象に奨学生予約採用の募集をすることがあります。

奨学生の種類	採用人数	貸与額	貸与方法	貸与期間
第一種(無利子)	若干名	5万円、8万8千円のいずれか選択	毎月1回振込み。初回のみ4月に遡って振込み	最短修業年限の終期まで
第二種(有利子)	若干名	5、8、10、13、15万円のいずれか選択		

(4) 日本学生支援機構授業料後払い制度について

2024（令和6）年度から国の施策による大学院修士課程（博士前期課程及び専門職学位課程を含む）を対象とした「授業料後払い制度」が創設されることになりました。詳細については、北海道情報大学教務課大学院担当まで問い合わせてください。

(5) 北海道情報大学 外国人留学生のための授業料減免及び奨学金

外国人留学生のために次の2つがあります。ただし、申請できるのは1つのみです。

① 授業料減免・・・授業料の30%を減免（学業成績並びに経済的な理由による）

② 学業成績優秀かつ経済的理由による給付奨学金（返還の必要はありません）

奨学金対象者	採用人数	給付額	支給時期及び支給方法	支給期間
総合情報学研究科 1年次・2年次	3名以内	200,000円	9月と翌年3月の各月に均等分割支給	採用年度の1年間

● 税理士試験について

平成14年4月1日以後に大学院に入学し、そこで授与された修士の学位等により税法に属する科目又は会計学に属する科目の試験免除を受けようとする場合は、それぞれ平成14年4月1日から施行された税理士法第7条第2項又は第3項に基づき、本人の研究が税法に属する科目等又は会計学に属する科目等に関するものであることについて国税審議会から認定を受ける必要があります。

詳細は、国税庁にお問い合わせください（国税庁ホームページ <http://www.nta.go.jp/>）。

試験会場



大学院担当教員(専任)の専門分野と研究テーマ

<デジタルビジネス・マネジメント分野>

教員名	職名	専門分野	研究テーマ
福沢 康弘	教授	地域経済学 中小企業論	①地域イノベーション・システム論 ②内発的地域発展論 ③中小企業における経営の諸問題に関する研究
甫喜本 司	教授	統計科学	①データ科学の方法 ②データモデリングの方法と実現象への応用 ③統計的シミュレーションと予測 ④諸現象における実証分析法の開発
遠藤 雄一	准教授	消費者行動論 経営組織論	①消費者行動論 ②サプライチェーン・マネジメント ③経営組織論
吉見 明希	准教授	会計学 管理会計論 コンテンツ産業論	①コンテンツ産業における管理会計 ②会計と大衆文化 ③地域社会におけるコンテンツマネジメント
坂本 英樹	教授	マーケティング ベンチャービジネス アントレプレナーシップ	①マーケティング ②ベンチャービジネス ③アントレプレナーシップ
向原 強	教授	オペレーションズ・リサーチ 意思決定支援システム	①オペレーションズ・リサーチ ②統計学を利用したデータ解析 ③GISを活用したデータ分析
安田 光孝	教授	コンテンツプロデュース 教育工学	①クリエイティブ産業とビジネス創造 ②コンテンツを活用した地域活性化 ③PBLを用いたクリエイティブ教育 ④コンテンツ開発とUI設計

<システムデザイン分野>

教員名	職名	専門分野	研究テーマ
山北 隆典	教授	データ工学	①データベースシステムの開発 ②教育・学習関連システムの開発
尾崎 博一	教授	高信頼システム	①システムの信頼性解析 ②システムの低コスト高信頼化
内山 俊郎	教授	情報システム データ解析	クラスタリングやレコメンド等のデータ解析に関する研究
広奥 暢	准教授	音声情報処理 コンピュータネットワーク 情報システム	①音声による表現のためのWebブラウザ開発 ②サーバ管理支援ツールの開発 ③アプリケーション開発
中島 潤	教授	情報システム 情報通信ネットワーク ネットワークセキュリティ システム監査	ネットワークを通じて発生する各種の不正アクセスやセキュリティインシデントの証拠収集と、解析を行うためのコンピュータフォレンジックツール(Computer Forensic Tool)の研究開発

<システムデザイン分野> 前頁からの続き

長尾 光悦	教授	観光情報学 複雑系工学 システム工学	①AI や ICT 技術を用いた観光支援に関する研究 ②ICT デバイスを用いた動態調査に関する研究 ③ソーシャルリスニングによるブランディングに関する研究 ④実システム開発に関する研究
柿並 義宏	教授	宇宙・地球情報学 データ工学	①人工衛星・ロケットなどの宇宙情報を用いた研究 ②自然災害（地震・雪崩・集中豪雨など）から発生する超低周波音に関する研究 ③ゾウの超低周波音によるコミュニケーションの研究 ④様々なセンサを用いた環境計測とその応用
越野 一博	教授	医用画像工学 人工知能	①人工知能に基づく画像診断支援技術の研究開発 ②人工知能に基づく画像や自然言語などのマルチモーダル・データ分析
栗原 純一	教授	宇宙惑星科学 航空宇宙工学 農業情報工学	①リモートセンシングを用いた研究 ②衛星データ分析プラットフォームを用いた研究

<メディカル・ヘルスケア IT 分野>

教員名	職名	専門分野	研究テーマ
佐瀬 雄治	准教授	医療情報学 医療経営学 診療所マネジメント	①ICPC-2 を用いた診療行為解析 ②患者の来院動向分析 ③患者目線での医療機関評価
西部 俊哉	教授	外科学 血管外科学 認知症学	①AI による血管外科手術患者の予後予測 ②下肢虚血とフレイル・サルコペニアの関連に関する研究 ③認知症の大規模コホート研究
本間 直幸	教授	健康教育 食品保健科学 ヘルスデータサイエンス	①健康社会の実現に向けたヘルスデータサイエンス研究：健康意識や健康状態の調査，地域の社会調査等に基づくデータ解析など ②IT（情報技術）のヘルスケア領域における応用研究：健康管理システムの構築など ③未病医学と食品保健科学に関する研究：食品の機能性を生かして未病域から健康状態への回復を図るためのエビデンスの構築（食品のヒト介入試験，リスクコミュニケーションなど）
齋藤 静司	教授	生命情報科学 構造生物学 計算統計学	①希少疾患原因遺伝子産物の構造解析 ②蛋白質の三次元構造形成過程及び基質結合の計算機シミュレーション ③生命科学データの統計解析及び人工知能等を用いた予測

<クリエイティブメディア分野>

教員名	職名	専門分野	研究テーマ
向田 茂	教授	画像処理 コンピュータグラフィックス	人の知覚や振る舞いを解明（理解）し、再現するためのアプリケーションの研究開発をおこなう。とくに以下の研究をおこなう。 ①顔画像処理による年齢操作、印象操作など ②インタラクティブアート、メディアアート
隼田 尚彦	教授	環境行動学 環境認知 認知工学 建築計画学	環境行動学、人間工学、メディアアートに関わる研究。とくに、以下のテーマの研究を行っている。 ①高齢者の居住環境に関する研究（福祉施設・住宅・地域コミュニティなど） ②環境認知研究（高齢者の環境認知・建築・景観シミュレーション、環境認知とインターネット上の仮想空間の認知など） ③ユーザエクスペリエンスの研究 ④環境デザインに繋がるメディアアートの研究
高井 那美	教授	コンピュータグラフィックス 画像処理	3次元コンピュータグラフィックス等を用いたコンテンツ作成及びその方法論について。具体的には、Web3D やアニメーション等を利用し、ユーザにとって魅力あるコンテンツとは何か、どのようにしたら効率的に作成できるかを探っていく。
斎藤 一	教授	教育・学習支援 観光情報学	教育・学習や観光分野を対象とした、Web やモバイルデバイス向けのコンテンツやアプリケーション開発に関する研究をおこなう。開発するコンテンツやアプリケーションは、教育工学や観光情報学（学習支援システム、インストラクショナルデザイン、人工知能・知識処理、ソーシャル分析、ゲームの活用等）の、最新の研究や技術動向を調査した上で、企画・デザイン・実装・評価を行う。
藤原 孝幸	教授	コンピュータビジョン コンピュータグラフィックス	画像、映像等のメディア情報を分析し、その結果を用いたアプリケーション開発に関する研究。 ①画像処理アルゴリズム開発と実利用化 ②画像処理の産業応用
伊藤 正彦	教授	情報可視化 ユーザインタフェース データ工学	「データと人、人と人、データとデータとをつなぐ」ための情報可視化に関わる研究開発を行う。 ①様々なデータを用いた情報可視化・分析システムの研究開発 ②様々なセンサ技術を用いたデータ生成およびインタラクティブシステムの研究開発
湯村 翼	准教授	ユビキタスコンピューティング ヒューマンコンピュータインタラクション	ソフトウェアやハードウェアを用いた人とコンピュータの新しいインタフェースの研究や、物理空間センシングによるデータの収集および活用の研究を行う。
平山 晴花	准教授	コンピュータ音楽 インタラクティブアート	インタラクティブ音楽作品やマルチメディア作品の創作。特に、インタラクティブ音楽システムの構築と作曲方法論、および美学に関する研究。

入学試験に関する問い合わせ先

北海道情報大学 教務課 大学院担当

〒069-8585 北海道江別市西野幌 59 番 2 TEL(011)385-4411(代表)

TEL(011)385-4414(直通)

E-MAIL : gschool@do-johodai.ac.jp